

第3節 民族自決を求めて

1

中東・インドの民族自決



- | | | |
|-------|---|-----------|
| □ (1) | 存亡の危機を迎えていたオスマン帝国で、祖国防衛戦争を続けて勝利させた軍人。 | ムスタファ＝ケマル |
| □ (2) | 英仏など連合国と1923年にローザンヌ条約を結んで成立した国。 | トルコ共和国 |
| □ (3) | (2) の頃、イランで成立した国。 | パフラヴィー朝 |
| □ (4) | パレスチナにユダヤ人国家を建設することを認める宣言を発したことが原因となって、現在まで続いている問題。 | パレスチナ問題 |
| □ (5) | 1919年にインドで制定された、出版物の検閲、令状なしの逮捕、裁判無しの投獄を認めるとする法律。 | ローラット法 |
| □ (6) | 非暴力・不服従を唱えた、インドの国民会議派に属した人物。 | ガンディー |